

(1) ※上北郡選挙区の区域は、野辺地町、七戸町、六戸町、横濱町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町です。

プロフィール

1965年5月21日生まれ A型

- 野辺地町立野辺地中学校卒
- 青森県立野辺地高等学校卒
- 日本大学農獣医学部食品経済学科卒
- 第16・20代 野辺地町商工会青年部部長
- 野辺地町商工会理事
- 青森県商工会 青年部連合会副会長
- 野辺地町観光協会理事
- 野辺地町議会議員（1期）
- 野辺地ハンドボール協会副会長
- 2011年青森県議会議員

上北郡選挙区出馬 次点

地域の力で夢を形に。

農林漁業者の所得安定

「米概算金昨年度の30%減、過去最低を記録！」しかし民主党政権時の戸別所得補償制度を廃止し交付金を半額にしたため離農が相次ぐ可能性が大きい。農業経営の安定と生産力の確保、食料自給率の向上に努めます。

漁業は、適切な資源管理に取り組み漁業者に対し共済の更なる掛け金軽減などを行い資源管理と漁業者の経営安定を努めます。

教育環境の整備

「人への投資」「チルドレンファースト」を政策の柱に子ども一人ひとりが個性を活かしてたくましく、思いやりをもち生活出来る教育と環境を作ることに努めます。

エネルギー供給基地としての魅力発進

上北地域は、核燃料サイクル基地や原子力発電プラント、国内最大級の風力発電の集積地域であり、エネルギーに関わる最先端の研究開発など、青森県の価値はさらに高まっていくことが確実です。安全性を第一に、エネルギー産業が各種事業展開を円滑に行える環境整備に努めます。



民主党公認

木明 和人

49歳

地域の声を、県政に届け、郷土の明日を拓く

（工藤 慎康 略歴）

- 昭和45年3月21日生
- 青森県立三本木高校卒業
- 日本大学工学部土木工学科卒業
- 平成19年青森県議会議員

文教公安委員会副委員長
原子力・エネルギー対策特別委員
自由民主党青森県支部連合会総務副会長
自由民主党青森県支部連合会青年局長
自由民主党青森県支部連合会青年顧問

●農林畜産業の振興

本県を食料供給基地として生産基盤を確立し所得安定に努めます。

森林の整備・保護育成の推進・安定雇用の場の確立、県産材の利用促進に努めます。

国の制度等を有効活用し、供給・雇用・収入の安定に努めます。

水産資源の充実・保護・管理、及び生産拡大に努めます。

●高速交通体系の確立

陸（鉄道・自動車）・海（船）・空（飛行機）それぞれを組み合わせた観光ルートの確立及び滞在型観光の構築に取り組み、本県の発展に努めます。

●子育て支援と教育の充実

子育ての経済的負担の軽減と、仕事と子育てを両立させる環境づくりの推進に努めます。

「子供は国の宝」の実現の為、地域のコミュニケーションを図り、地域社会教育の拡充に努めます。

●医療と福祉の向上

福祉の向上は、家族へのケアもトータル的に考えながら確立する必要があります。

地域医療格差の是正、地方にないがらすべての医療サービスを受けることのできるシステム構築に努めます。

若い力で、新しい風を！



自由民主党公認

工藤のりやす

子どもに愛を 青年に夢を お年よりに安心を

吉田絹恵プロフィール

- 略歴
 - 昭和21年10月8日生まれ
 - 生まれも育ちもおいらせ町（旧百石町）
 - 県立八戸商業高校、光星学院八戸短期大学卒業
 - 平成15年～23年 旧百石町、おいらせ町議会議員
 - 平成23年～ 青森県議会議員
- 現在
 - 社会福祉法人奥入瀬理事長
 - 学校法人藤野園石幼稚園園長
- 座右の銘

「隣善の家に余慶あり」

県南唯一の女性議員を再び県政に

安心できる福祉社会の構築

お年よりや支援の必要な人が、安心して生活できる環境づくり

医療・介護・保健を包括的に行い、安心して生活できる社会の構築に向けた政策の推進

産業振興とまちづくり

地域の基幹産業である農林漁業、並びに商工業の振興・発展

青年の雇用の場の拡充による、地元への定着と、安定した生活の推進、及び町づくりの活性化

高校の進路教育を充実し、一人一人の適性を生かす進路選択のための環境づくり

教育制度の確立と子育て支援

誕生から成人まで、子ども達が健やかに育つ環境づくり

女性の出産・子育てと仕事との両立をサポートする政策の推進

男性の育児参加と社会全体での子育て見守り政策の推進

子どもの医療費補助の拡大

無所属よしだきぬえ

吉田絹恵

(68歳)

エビス正勝プロフィール

昭和22年10月4日 / 上北郡東北町に生まれる。
昭和41年 / 三本木農業高校農業土木科卒業

- 略歴
 - 乙供中学校PTA会長
 - 東北中学校統合準備委員会委員長
 - 七戸地区安管事業主会副会長
 - 東北町ロータリークラブ会長
 - 東北町商工会会長
 - 青森県商工会連合会副会長
- 現在
 - 青森県議会議員(1期)
 - 東北町森林組合代表理事組合長
 - 青森県森林組合連合会副会長
 - 東北町体育協会顧問
 - 三沢ボリュウム会中將
 - 自民党青森県連 党紀委員会副委員長
- 趣味 / 読書
- スポーツ / ソフトテニス、ゴルフ

選挙事務所
TEL 0175-65-5530

必ずやり抜く 地域のために

私の取り組むべき政策

基幹産業である農林水産業の振興に取り組みます。

全国第4位の食料自給率を誇る青森県において、上北地域は重要な産地です。農林水産物の生産から加工・販売へと高付加価値化を進め、地域発展のために全力を尽くします。

恵まれた資源を活用した農林水産業の振興・育成に努めます。

6次産業化 農産物加工を積極的に推進します。

優れた農林水産物のブランド化を図ります。

安心快適な暮らしの構築に努めます。

少子化、若者の流出等に歯止めがかからない中、大切なことは若い世代が仕事を獲得し、この地域の将来に夢を持ち、安心して暮らし、子育てできる環境づくりです。たれも安心して暮らせるよう地域医療、介護、福祉の充実を図ります。

広域行政の観点で考えた隣接市町村との円滑な交通ネットワークの整備に努めます。

山川海が一体となった環境対策に努めます。

青森県と一丸となって、切れ目のない雇用・経済対策の充実を努めます。

勤務医等の医療従事者不足対策に積極的に取り組む 医療福祉の充実を努めます。

次世代を担う子供たちを元気にします。

元気な地域には、必ず元気な一人がいます。未来の地域のためにも子供たちが元気でなくてはなりません。そのためにも安心して学べる環境が重要です。就学児童生徒の減少に対応し、しかも教育の質の低下をさせないために、適正規模の配置や教職員の確保に全力で取り組みます。

学校教育環境の整備に努めます。

青少年がスポーツに親しめる環境の充実を努めます。



自民党公認

エビス正勝

マサカツ

※上北郡選挙区の区域は、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町です。

(2)

自由民主党公認

沼尾 啓一



地域の声を県政に提案

情熱 行動 実行

① 農林漁業振興

食料基地としての魅力発信と観光振興による地産地消の実現を目指します
青森県は日本の食料基地であり木材も豊富です。外国に頼らない負けない産業基盤があり、地方創生は食料基地である青森県からスタートさせる必要があるとの意気込みで取り組みます。

② 商工業振興

地元商店街に輝きを取り戻す施策を具体的に提案します
日本の未来も青森県の未来も、それぞれの地方各市町村にある中小企業の力の発揮にかかっています。商業は地域の生活を、工業は地域の雇用を支えています。地方創生はここから始まると思います。県内中小商工業の発展に必要な提言をしていきます。

③ 環境保全

安心安全の食料基地形成のため、環境保全に取り組みます
地球温暖化は世界の異常気象を引き起こし、水質汚染は世界の食料を脅かしています。水は「生命の源」、「安全安心な食料の源」と言われます。そのため必要な、青森県の河川、海（湖）の全体的な環境保全に取り組みます。

④ 観光振興

上北郡内各地域の「文化・農林業・酪農及び漁業資源」を活かした観光振興に努めます
観光は、交流人口を増加し地域産業を潤します。地域資源を活かした観光コンテンツのライン形成は完成し、残る各市町村の受け入れ体制の充実に向けて進めます。

《沼尾啓一プロフィール》

昭和23年2月24日生まれ（67歳）

【学歴】

青森県立三沢高等学校卒業
明治大学政経学部経済学科卒業

【経歴】

三沢市商工会事務局長
上北町助役
(新)東北町収入役
元小川原小学校PTA会長
青森県議会農林水産副委員長
青森県柔道連盟審議員

【趣味】

自然に親しむ
釣り、山菜採り
柔道（7段）



青森県議会議員一般選挙



投票日 4月12日(日)



投票時間 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所については、投票時間を変更していますのでご注意ください。

投票の方法

投票用紙(白色)には、「候補者の氏名」を記載してください。

※ 候補者の氏名以外の他事を記載した場合、その投票が無効となることがありますのでご注意ください。

期日前投票 4月4日(土)～4月11日(土)、午前8時30分～午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭等、一定の事由がある方は、あらかじめ、市町村選挙管理委員会が設置する期日前投票所において、投票をすることができます。ただし、一部の期日前投票所については、日時を変更していますのでご注意ください。詳しい手続きについては、市町村または県の選挙管理委員会にお尋ねください。

投票率2年連続 全国最下位

—ホントにこれでいいですか?—

